

チャレンジ

旭川大学高等学校 ライセンスコースよりNO15(204)2018.3.23

新しい学年への 今が一番大事な時期だ

明日から2週間の春休みに入ります。3月は、学年末試験が始まり就職希望者の企業説明会が開催され本校からも数10名の生徒が参加しました。また、主催者教育として旭川大学で講義を受けたりと、就職・進学に向けた学習がスタートしました。新学期始まるまでの間にいかに進路に向けた体制を築くかが重要になります。3年生になってから、進路を考えたり日常生活を振り返ったりするのはなく、学校生活の中で自分が何をすべきかを考え、行動する時であると思います。

終わりから 始まりへ

大きな節目が終わると、何となく気の抜けた生活になりがちですが、そうめんぶりもしていません。多くの部活動では、高体連

高野連、さらには各種ユニークなどに向けて練習に余念がない毎日となるでしょう。2年生は高校生活最後の大会に向けて弾みをつける時期となりそうです。

4月からは進路実現に向け、全力を注ぐこととなります。就職、進学いずれの道を希望するにせよ、今まで以上に、ひとつ高い段階に意識を持っていくことが大事です。公務員、看護学校、国公立大学進学希望者など限られた時間で、難関を突破するには、それなりの学習と気持ちをつくらないといけません。そういった意味でも春休みは大事に過ごしてほしいと思います。

4月9日(月)に新年度の始業式を迎えます。休み中、交通事故や非行事故に合わないよう日常生活に十分注意をして、新たな気持ちで新年度を迎えましょう。

スマホ依存の子増加 ——WHOが「病気」認定へ——

友達とのラインやゲーム、YouTubeでの動画視聴。スマートフォンにハマる子どもが増えています。

日々の学校現場で「ネット・スマホ依存」と思われる「気になる子ども」がいます。「自分の体験や思いを言葉にできず、作文が書けない生徒が顕著になってきました」。そういう子どもたちの多くは、スマホでのゲームやラインにハマっています。

ある男子生徒は、スマホを持ってから成績が下がり始め、テスト前に「スマホは持たない」しかし「気づいたら持っていた。勉強中にラインの着信音が頭の中で鳴る。スマホは楽しいコンテンツ(内容)が無限にあるので自分で制限するのは難しい。

スマホやネットの低年齢期や長時間の利用で起こる健康問題はあまり知られていません。しかし、子どもたちの健康被害は、国内外の調査・研究で年々明らかになっています。

不登校や遅刻・早退、体調不良などの症状、睡眠障害による発達不全、立体的に見えにくくなる両眼視異常、言語能力の低下や成績の急降下など脳の機能低下など

学力低下に関しては、家庭での勉強時間が同じ場合でも、スマホの利用時間が長い生徒ほど、テストの成績が低い傾向にあることがわかっています。

厚生労働省の研究班が中高生に行った調査では、ネット依存を強く疑われる状態にある生徒が約8%おり、全国に5万8400人いると推計されました。

